

1. < 施策の概要 >

基本理念	快適な暮らしを支える充実した居住環境のまちづくり	統括課	消防本部・署
基本方針	消防・防災		
施策名	自主防災体制の強化	関連課	
方針・目標等	◆住民の防火、防災意識の向上。◆自主防災体制の拡充。		
実施内容	◆防災資機材の整備。◆地域住民、事業所等への防火防災訓練指導。		

2. < 指標の設定 >

重点	指標名	単位	他団体比較 団体名/実績/年度		算式・引用等			
			京田辺市	22				
①	自主防災組織結成率	%	50	22	組織/自治会			
②	防火防災訓練参加者数	名	33,696	22	消火訓練等実数			
③								
④								
⑤								
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(試算)	H24(試算)
①	目標		47	49	51	55	60	65
	実績		46	49	51	56		
②	目標		19,000	21,000	24,000	26,000	26,000	27,000
	実績		18,090	21,130	26,991	24,990		
③	目標							
	実績							
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

3-1. < 指標から読み取れる成果と課題 >

・各事業所や自主防災組織等の活動は、他市町村に比して活発であり、各種訓練等を通じて防火防災意識が高く、参加率が高くなっている。
 ・防災組織の活動等、訓練の実施回数が増加し、火災等出動に対応する職員と別に訓練指導に赴く職員を配置しなければならず、今後職員の配置が困難となる。

3-2. < 住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点 >

・自主防災組織から訓練指導に携わる職員の派遣要請が増加している。
 ・火災等発生に対応する体制が弱体化しないように災害出動隊で訓練指導もできる体制を確立する。

4-1. < 施策を構成する事業 >

	重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 < 単位：千円 >					
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(予算)	H24(試算)
1	○	消防本部・署	-	-	35,456	35,883	35,931	35,934
		住民防火指導事業	121	130	131	146	194	197
		一般事業 209	-	-	131	146	194	197
2		消防本部・署	-	-	40,421	34,652	34,089	34,089
		予防活動費	847	671	257	908	345	345
		一般事業 211	-	-	193	163	326	326
3		消防本部・署	-	-	21,491	15,387	15,594	15,600
		各種団体運営事業	1,447	1,461	1,570	1,667	1,874	1,880
		一般事業 217	-	-	1,570	1,257	1,874	1,880
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

4-2. < 施策を構成する事業の成果と課題 >

・各事業所に対する自衛消防訓練指導をはじめ、地域住民等に対する防火防災啓発を実施した結果、各事業所や地域住民等の訓練参加者数の増加し、防火防災意識の向上が見られた。・「こどもを守る町精華町」の実践として、幼稚園・保育所、地域の児童等に対する防火啓発の実施により、多数の児童等に「防火の約束」等、遵守事項の習熟が見られた。・平成23年6月から住宅火災警報器が義務設置されるが、未設置の家屋に対してさらなる啓発活動が必要である。・自治会単位として結成されている自主防災組織の結成率(平成23年3月末50%)をさらに進める必要がある。

5. < 施策の今後の方向性 >

・防火指導等について、専属係員だけではなく、出動配置消防隊員等多くの消防職員が防火指導業務ができる体制を構築していく必要がある。
 ・住宅火災警報器の共同購入やインターネット等の活用や街頭での啓発等、積極的な啓発活動を実施する。
 ・自主防災組織が結成されていない自治会に対し、自主防災組織の必要性等、防災意識高揚のための啓発活動を行う必要がある。